

## est • Bus News

B 客 鉄道 労 働 組 싐 日 バス地 方 本 部

**∓** 530-0012

大阪市北区芝田2丁目1番18号西阪急ビル8F

発行責任者 責任者

会

)を選出し、議事に入りました。 大会議長には、吉田代議員(金沢分

し、議事に入りました。

ことが大事。

安全を基礎に絆を強め、

未来を切り拓こう!

矢田 尊弘 裕之 山口



① **更なる** 提起がされた

行するのは決して容易ではない。安取り組みを進めているが、不断に実最優先の重要性を理解して職場から年を迎える。すべての組合員が安全

が回復して

続的かつ物価上昇を上回る賃金引

[上昇を上回る賃金引上ない現状を考えると継

2025春闘に向けては、

採用競争力

万円の一

## JR 西労組西日本 JR バス地方本部 回定期地方本部大会開催



整っている。今年は一時金も支給さ整っている。今年は一時金も支給さまもの。反転攻勢に向けた舞台はばって頑張り様々な構造改革に一生ばって頑張り様々な構造改革に一生のたのも、これまでの間、歯を食いし てる会社に繋げていくとして4点のして、離職防止と採用競争に打ち勝善を果たし、夢や希望のもてる年に る。このような黒字が続く状況にな画を上回っている状況が続いてい万の改善となっていて、現状では、計 年の運賃の価格改定もあり、44百となっている貸切バスについても昨になっていますが、91百万の改善 になっていますが、91百万の改善運行本数が94.8%と少ない本数四半期と比較すると高速線は昨年の 数ベースだと乗車率は90%を超えは届いていませんが、現在の運行本は届いていませんが、現在の運行本余儀なくされ、コロナ禍前の便数に 円の赤字となっている。 ス事業だけを見るとまだ127百万 が、用地などの売却によるもので、 四半期決算が公表された。決算内容 る状況まで回復している。 れた。2025年も引き続き、待遇改 は101百万円の黒字となっている 昨年の第1 先日第1

福知山線列車事故から今年で19 更なる職場からの安全の確立に て未来づくり春闘として交渉に臨ん競争力の強化、継続的な賃上げを掲げ だ結果、西バス地本でも初となるベア ため、更なる職場からの安全の取り組効性のある改善を求める必要がある 技術も積極的に活用し、危険作業の削職や労働力不足が深刻化している。新現在、JR西日本グループでは、離 ることができた。 1000円など多くの成果を勝ち取 働く側から積極的に要求・提言して実 役割は極めて重要。会社施策に妥協な く安全へのチェックを行うとともに、 らの安全を確立するには、労働組合の めることも急務となっている。職場か 改革、職場や作業環境の改善などを進 減など仕事の仕組みを見直し、働き方 みを要請する。 2024春闘では、 2025春日に向けて

離職防止と採用

また、夏の賞与では全社員一律で3 時金を獲得することもでき

り組みを重ねて行く決意を皆様と確全の確立を最優先課題に位置付け取うABC運動の浸透をさせていき、安 できているようでできていない、アサ え続けていた、A:当たり前のことを B:馬鹿にせずC:ちゃんとするとい 死亡労災ともルールや手順を守って 機感を持たなければならない。2件の いれば命を防げたはずの事故。先ずは ションの徹底と前前畑書記長が訴 いということ、バスの運転士・整備士とと改善しない限り、真の解決はありえなな産業平均より約2割低いという実態は全産業平均より約2割低いという実態のでいるのでも間所得いる。全国でバスの転士は減少しならない。全国でバスの運転士は減少しならない。全国でバスの運転士は減少しない。 到達することが肝要である。それでなくいう職業の価値に見合った賃金という意という意という意という意というだめらこと、バスの運転士・整備士といということ、バスの運転士・整備士と とならな 整備士を1人でも多く増や と待遇改善をして、離職を止め運転士や現状。今年度も何としてでも賃金アップ ても物価上昇に賃金が追い付いていない到達することが肝要である。それでなく 今年度も何としてでも賃金アッ

バス産業を持続可能な産業

認したいと思う。

バス産業の課題をはじめとした交通政 でいられても決して無関係していられない。 でいられても決して無関係ではいられない。 が、対して、が名の機会に向けて働きかけな地域公共交通の構築に向けて働きかけな地域公共交通の構築に向けて働きかけないます。 とするためには、値下げ競争という消耗 戦から1月も早く成却し、適正な運賃・ 幸を図ることによって、魅力ある産業に なると思います。待ったなしの段階まで 来ています。何やしてでも収入を上げら れる仕組みを標準としていかなければなら ない。**政策実現に向けた取り組み** 

フR西労組の政治方針は特定の政党を支持するのではなく、私たちの信頼できる政治家個人と連携して支援していくこと。来年7月には、参議院議員の当選に向け、組合員とした。推薦決定をJR連合の人会によって決定した。推薦議員の「養屋隆」参議院議員の指薦決定をJR連合の人会によって決定した。推薦議員の当選に向け、組合員とその家族に対して、より一層の政治への加入拡張が変進のるとともして、「交通政策をすすめる会」への加入拡大に努めていただくことを要請する。

間で2名の仲間の尊い命が失った。1 ループに対する信頼を失いかねない るなど、会社のみならずJR西日本グ 年3月10日に加え今年6月19日 したことにより対物事故を発生させ には、回送中に私物の携帯電話を操作 だからこそひと手間を惜しまない 西バスでは、昨年の1月19日と同 ま 員に信頼されるますったことに感謝申し上げる。改善の労組運動を献身的に取り組んを指する。 を抱える組合員に長引くコロナ禍

は信頼される魅力ある組織を創らなければならない。コロナの経験で多くの職者や各種共済の脱退が相次いだことを職者や各種共済の脱退が相次いだことを職者の発し、組合員に寄り添い対話を大切にきめ細やかな対応で組織の充実強化の取り組みをすすめていきたいと思う。 し続けており社会問題にも発展してきてばならない。全国でバスの運転士は減い最優先課題として取り組んでいかなける最優先課題として取り組んでいかなける。 そる組合員に対して、職場からJR5くコロナ禍において、様々な不安**バス産業における課題について** 改めて組合 んでいただ

川代議員)休日がしっスを適用してほしい。(

。(本社分会古

ほしい。短時間勤務者もフレックに12月26日・30日を加えて

型コロナウィルスによる災禍も20い復旧をお祈り申し上げるとして新いでします。日も早に遭われた皆様のご健康と一日も早に遭われた皆様のご健康と一日も早

事象を繰り返し発生させている。

た、グループで昨年の大会以降、

歩間違えると重大な事故につながる

象も相次いで発生してい 感電・墜落・退避不良など、

ることに危 以前から

(スの運転士は減少)組んでいかなけれ

繰り返し発生している類型の事故・事

悔やみを申し上げるとともに、被災震でお亡くなりになられた方々にお の元日の夕方に発生した能登半島地 委員長より、先ずは、今年の新年早々

> 向にあるが、未だ物価の上昇が止まらずていました。更には、経済情勢は回復傾賃金も物価も上がらないことに慣れ過ぎ 私たちは、これまで30年以上に亘り 経済情勢は回復傾 慣れ過ぎ

る。採用強化に向けない 上に高齢化カチ 余裕を持たせてほしい。年末年始 転勤の時は引き継ぎをする時間に られたい。(金沢分会北濱代議員) 員からあった。内容としては、要助方針(案)、予算(案)の提起が行われ、全体質疑では、7名の代議的定の締結を、笹井書記長から運 議事では永易書記次長から経過ついて提起がされた。 と以上4点に 労使だけでは解決できない果園こ保障、地域公共交通のあり方など、員の生活を守るため、税制や社会員の生活を守るため、税制や社会 報告を、黒田業務部長から協約・ JR産業の持続的成長に向け 上に高齢化が進んできて題について、採用が進んで 議員と共に連携し、歴決できない課題に け待遇改善を図進んできてい採用が進んでい 取

約定で会社にぶつけきました。その切実な、も分会より様々なご





特たせた方がいいのではないか。 (京都分会を関係でした。 下橋副委員長の開会の挨拶の た。下橋副委員長の開会の挨拶の た。下橋副委員長の開会の挨拶の た。下橋副委員長のの提起があり、一括で の採択を満場一致で承認され、向 た。下橋副委員長のの提起があり、一括で の採択を満場一致で承認され、向 た。下橋副委員長のの提起があり、一括で の採択を満場一致で承認され、向 た。下橋副委員長のの目結が決定し た。下橋副委員長のの目結ガンバロ けいてもっとしっかりと行動して (大阪分会に山代議員) 採用がでって業務内容の縮小をして余裕を って業務内容の縮小をして余裕を 方によない状況であるため思い切ってまないない状況である。 - で大会を締めくくりました。

西E



**沂蘇労働会雇細川支店長** 





明治安田山本部長

たいと思います。 達成し、二年連 と、バス事業

関いてもっとしつかりと行動して 長大行路の解消。(神戸分会松田代 議員)通勤手当の増額をしてほしい。(今津分会東村代議員)更なる 安全を考え高齢者用のቸ額を考え てほしい。組合員の声をちゃんと が、(今津分会東村代議員)更なる が、(今津分会東村代議員)更なる が、(今津分会東村代議員)更なる

こりでは、大きないのの事でした。 これがあり、 これがあ

川代議員)休日がしっかり取得できる業務量にしてほしい。(大阪分会中井代議員) の場を与えてほしい。(梅津分会原の場を与えてほしい。(梅津分会原の場を与えてほしい。(梅津分会原の場を与えてほしい。(梅津分会原の場を与えてほしい。(梅津分会原の場を与えてほしい。(梅津分会原の場を与えてほしい。

笹井書記長の総括答弁内容 には業務多忙な中、定期大会により休日労働が増え組合員の需要が回復する一方で要員不需要が回復する一方で要員不















古川代鶴員

